

第28回定期大会開催

JR東海労名古屋地本、新体制でスタート

荻野委員長、御辺書記長を選出

4期8年山田前委員長おつかれさまでした

6月24日JR東海労名古屋地本は、金山「れあろ」において第28回定期大会を開催しました。1年間の成果を確認し、向こう1年間のたたかいの方針を満場一致で確認しました。

今大会は役員改選の年でもありました。4期8年東海労名古屋地本の先頭で奮闘してきた、山田委員長に代わって荻野新委員長を選出しました。

8年間お疲れ様でした



議長に名古屋運輸区の太田代議員を選出し、議事にはいりました。冒頭山田委員長からは「本年は人事の年であり8年間委員長を務めてきたが、今回で新たな委員長にバトンタッチして行きたい。」と最初に今大会で委員長を降りる決意が話されました。そして今大会でかちとるべき課題が提起されました。JR東労組の大量脱退問題、年休完全取得の闘い、組織強化及び拡大、そして平和を守る闘い等を中心にとりくんで行くことと挨拶を受けました。

来賓に、JR東海労本部より木下本部委員長、本橋書記長、森下業務部長、加藤組織担当部長、新幹線地本から小林総務部長、新幹線関西地本から三田副委員長、畑野書記長、名古屋地本OB会から原OB会長、鉄道ファミリーから加藤営業担当部長と多くの来賓の代表から連帯の挨拶を受けました。その後執行部より闘いの総括と方針が提起され、休会をはさんで午後から質疑にはいりました。

それぞれ職場からの闘いの報告がなされる

代議員からは職場の報告及び、安全問題、年休の問題、高齢者の労働条件、新たに導入されたタブレット端末の問題など、発言がありました。分会代議員の発言により地本方針は肉付けされました。各部の答弁をへて書記長の総括答弁で質疑を終了しました。



新たな委員長、書記長を選出

山田委員長に代わって、委員長に荻野さん、書記長に御辺さんを選出しました。

方針を満場一致で採択し、荻野新委員長の団結ガンバローで大会を終了しました。

